



	<p>4章 データベースソフトウェアの活用</p>	<p>データベースの特徴や基本的な機能を理解する データベースの構造を理解する。また、表を正規化するための手順を理解する。</p>	<p>データベースに関心を持ち、効果的な活用方法や役割などを説明できる思考が身に付いている。 データベースの表やデータ構造など基本的な知識を理解し、必要に応じた表の正規化ができる知識や思考が身に付いている</p>	○	○	○	16
--	---------------------------	-----------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	---	---	----

2 学 期		SQLを用いた汎用的なデータベースの操作方法について理解する。	SQLの演習について自発的に取り組み、SQLの文法を理解し、データベースを適切に操作する技術が身に付いている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	
		グループウェアを活用することの利点と、グループウェアを活用して効率的に業務を行う方法について理解する。	グループウェアに関する知識、技術を身に付け、企業活動の改善に対する業務の効率的な処理について、組織の一員としての役割を果たすため、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	6章 情報システムの開発	情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解するとともに、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める。	一般的に利用されているシステム開発モデルについて、各手法の趣旨やメリット、デメリットを理解し、適切な手法を選択することができるか。	○	○	○	2
		情報システムの開発の中でのプログラミングにおいて、コンピュータに指示を出すための手順であるアルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける。アルゴリズムを表現するための流れ図について、問題解決のためにその技術を利用することができるか。 アルゴリズムの各種基礎的な考え方を理解しているか。	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発において、どのモデルで開発を進めるかを、主体的に考え、思考することができるか。				13
	定期考査			○	○	○	1
合計							90